

事業所名 親と子のはぐくみ広場「みのり」

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

2025年

3月

1日

法人（事業所）理念	子ども一人一人を尊重し、その特性を理解し、特性に合わせた支援をライフステージを通じて提供します。子ども一人一人が自分の思いを表現して、いきいき、のびのびと過ごせるように、コミュニケーション支援を大切にします。子どもたちの得意を生かし、苦手を補って、社会生活で生かせるスキルを身に付けられるよう、ご家族とともに連携して支援を行います。日々の支援の中で、従業員も互いに一人一人の個性を尊重し、子どもたちとともに学び、成長し、生き生きと働ける職場を実現します。					
支援方針	安心できる環境の中で一人ひとりが自分の思いを表現しながら、“いきいき”“のびのび”過ごせることを心がけています。子どもさんそれぞれの特徴により添いながら、こころとからだの育ちを支援します。また、保護者の方の子育てに関する不安や家庭での対応などについて話し合いながら、一緒に子どもさんの育ちを考え、ご家族と共に歩んでいきます。					
営業時間	9時	30分から	17時	30分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態や基本的な生活スキルの発達段階、生活環境を把握し、必要な生活習慣の形成に向けての支援を行います。 わかりやすく部屋を構造化し、活動しやすい環境を整えます。 				
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 遊具遊びや感触遊び等、様々な感覚や身体の動かし方が経験できる遊びを工夫して設定します。 姿勢保持や筋力を育む粗大運動や、手指の巧緻性を育む微細運動を活動に取り入れます。 必要に応じて作業療法士からアドバイスをもらってプログラムを設定します。 				
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 認知の特性や習得段階を把握し、個々に合った個別課題を設定し、取り組みます。 本人が興味を持てるような様々な遊び方を提示し、楽しめる遊びの世界を拡げていけるよう支援します。 絵カード等を使って予定をわかりやすく伝え、行動の見通しを立てやすくします。 				
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 本人の表現に敏感に応じ、丁寧に言語化していくことで、場面や気持ちに合った表現が増えるよう支援します。 玩具やおやつ等、はっきりと要求を伝える場面を設定し、要求方法の定着をはかります。 絵カード等を使ったコミュニケーションを積極的に行い、状況理解や気持ちの表出を支援します。 				
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> グループの中で主に関わる担当を設定し、じっくり関わりながら信頼関係を形成します。 他児と関わる際には、本人の段階を把握しながら間を繋ぎ、一緒に遊ぶ楽しさや様々な関わり方が経験できるようにします。 グループでの設定遊びを行い、わかりやすくルールを伝えて楽しめるよう支援します。 				
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に保護者グループでの相談時間を設定します（概ね隔週で実施）。 希望により個別相談の時間を設定します。 療育場面への参加や見学ができる機会を設定します。 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> 通われている保育園、幼稚園、こども園への見学や情報共有を通して移行に向けた支援をします。 			
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 通われている保育園、幼稚園、こども園への見学や情報共有を行います。園の先生に療育場面を見学してもらうこともできます。 その他、医療機関等の関係機関とも連携をはかります。 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 自閉症eサービスの研修受講、PECSワークショップへの参加 公認心理師、臨床心理士研修会への参加（資格取得者） 日々の療育の振り返り 			
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> 夏のプール遊び 放課後デイサービス土曜日レククラブ夏祭りへの参加（年長児） 					